



大阪府インテリア設計士協会

〒541-0059 大阪市中央区博労町1-6-14
TEL. 06-6262-1488 FAX. 06-6262-1553

URL <http://jp-interior.or.jp/ois>
blog <http://oisblog.exblog.jp>
E-mail ois@jp-interior.or.jp

編集スタッフ

広報部長：田原
広報部：五代・仲田・高尾
加茂・西脇・橋口
事務局：奥田・岡崎



あいさつ
宮後会長

平成23年度総会

事業報告等
奥田専務理事

監査報告
福田監事

がんばれ日本

東日本大震災被害者各位に
心から哀悼の意を表します。

No.86

新年度を迎えて
会長・宮後 浩

3月11日に東日本大震災という未曾有の災害が起こり、追い討ちをかけるように原発の放射能問題と、気持ちの休まる時がありません。亡くなられた方々には深い哀悼の意を表すと同時に、被災された方々には、一日も早く希望の持てる日が来ることをお祈り申し上げます。

今回の災害は、外国では、日本国内よりもっと重大事になっているように報道されているようで、国内の外国人もかなり減っているようです。

このところ国内の仕事が減った影響もあるのか、中国に関連した仕事が増えつつあるように思われます。直接中国の方と打ち合わせをする機会があるわけでもありませんが、話を聞くとかなり日本人とは感覚が異なるかと。

われわれのデザインという仕事はサービス業に近く、施主の要望が読めないことには提案もできません。同じ国民性で

さえ至難の業、ましてや感覚の異なる人の気持ちとなると...

先日、日頃ご鼎足をいただいている会社の新入社員研修セミナーをやらせていただきましたが、7人のうち6人が中国人で、中国の人たちは質問も多く積極的な就学意欲には目を見張るものがありました。日本の学生も、もっとスキルアップに貪欲になってほしいと思います。

今、頑張らないと手遅れになってしまいます！

23年度総会報告

新体制を発表・会長は続投

OISの平成23年度総会は4月22日(金)午後6時30分からコラムデザインセンターで行われ、平成22年度事業並びに決算報告、23年度事業並びに予算案について審議、いずれも原案どおり可決承認並びに決定された。

事業報告では、メイン事業である検定試験の受験者が減少したことによる財源不足、見学会等の実施回数が例年を下回り、さらに、参加状況も思わしくなかったなどマイナス面が浮き彫りにされたが、瀬部部長率いる青年部が、恒例化したDesigner's Barに加えNANA-BOZE、ASO-BOZEを実施したこと、またそれらを会員に伝える葉知利書発行の広報部が気を吐いた一年だったと評価し、事業計画では、6部門だった事業部を4部門に再編、より動きやすい体制づくりを行ったと報告された。

2年に1度の役員改選では、宮後会長は再任、梅田・田原の新副会長が誕生したほか、

今井・西脇・橋口の新理事の就任も決まった。役員と、事業部制の運営組織は別掲のとおりである。

決算や予算に関する内容についての詳細は会員に対し情報公開するので、必要な人は事務局に問い合わせしてほしい。

運営組織(事業部)

| 事業部 | 部長 | 業務内容 | メンバー |
|-------|----|-----------------------------------|----------------------|
| 第1事業部 | 梅田 | 受験推進・検定説明会 試験会場設営・管理 | 足田・河野・石渡 隈井・今井 |
| 第2事業部 | 今西 | 講習・講座・KAGUKEN 見学・実地研修 | 千田・山口・山田 朝日・橋口 |
| 第3事業部 | 田原 | 広報(葉知利書)・ホームページ 賛助会員・関係団体・財務管理 | 仲田・五代・高尾 加茂・西脇・橋口 |
| 第4事業部 | 南野 | 事遊展・手作りサロン 親睦・かぶだちの会・青年部 | 福田・瀬部・広畑 吉矢・園田 |

※会長はすべての事業部会を統括し専務理事はすべてを補佐する。
事業実施においては、他のメンバーもオーバーラップして一致協力する。

役員名簿

| | |
|------|--------|
| 会長 | 宮後 浩 |
| 副会長 | 南野江以子 |
| 〃 | 梅田 澄子 |
| 〃 | 田原 妙子 |
| 専務理事 | 奥田 忠彦 |
| 常任理事 | 千田 治次 |
| 〃 | 今西 隆次 |
| 〃 | 河野 洋二 |
| 会計理事 | 石渡 華一 |
| 理事 | 山口 晋一 |
| 〃 | 仲田 貴代史 |
| 〃 | 山田 弘美 |
| 〃 | 広畑 直子 |
| 〃 | 瀬部 明子 |
| 〃 | 吉矢 祥彦 |
| 〃 | 朝日 勝子 |
| 〃 | 加茂 多紀子 |
| 〃 | 隈井 健二 |
| 〃 | 園田 寛明 |
| 〃 | 高尾 寛寿 |
| 〃 | 今井 俊夫 |
| 〃 | 西脇 利彦 |
| 〃 | 橋口 新一郎 |
| 監事 | 足田 友友 |
| 〃 | 福田 幸市 |

新理事を紹介します

①氏名②会社名③本人から一言



- ①今井 俊夫
- ②今井環境建築事務所 所長
- ③「ふだんの仕事は、マンション等のリノベーションを主に、住宅等の新築や改修を手がけています。建築をつくるには、関係する人たちのコミュニケーションづくりがもっとも重要と感じます。今後も建築・インテリアを通じて社会に貢献出来れば・・・と考えています。宜しくお願いいたします。」



リノベーションの例



- ①橋口 新一郎
- ②橋口建築研究所 代表



③「新」～あらた～
 私たちは、人類がこれまでに築いてきた素晴らしい伝統や文化、素直な形・素直な素材を、丁寧に受け継ぎながら、あらたな知識・技術・アイデアをほんの少し加えることで、後世に残るあらたな生活環境を創造し続けています。



作品例/LaLa clesso (サウスゲートビル店)



- ①西脇 利彦
- ②バナホーム株式会社
- ③普遍的な住宅の在り方について日々考え苦悩しています。

趣味/「旅」・・・特に海外

に行く、日本の良さ再認識します。「スキー」・・・冬が来るのが待ち遠しくて仕方ありません。「ゴルフ」・・・上達の気配なし、効果的な練習法があれば教えてください。



エジプト カイロにて

SSS第45期通常総会

五月晴れの千里丘陵で



挨拶する疋田会長



特別講演の須藤・宮城支部会長



談を生々しく報告、「皆さん、備えあれば憂いなしです。他人事と思わず有事に備えてください」と訴えた。

翌15日は、岡本太郎生誕100年で再び脚光を浴びる太陽の塔のある万博記念公園へ招待、正面入り口で塔をバックに記念撮影後一行は「国際民族学博物館」へ。同館併設の「レストランみんな」で思い思いのランチを済ませた時点で流れ解散とし、「大阪日本民芸館」「EXPO'70パビリオン」はじめ、日本庭園などを思い思いに見学・散策した。

なおOIS関係者の本部役員として、疋田会長、宮後副会長、奥田専務理事、植田顧問待遇常任理事は再任、千田理事に代わり今西OIS常任理事が、今西監事に代わり梅田OIS副会長がそれぞれ就任した。(事務局)



イラスト:仲田理事

「ザ・机」

1台2,000円、カンパにご協力ください。

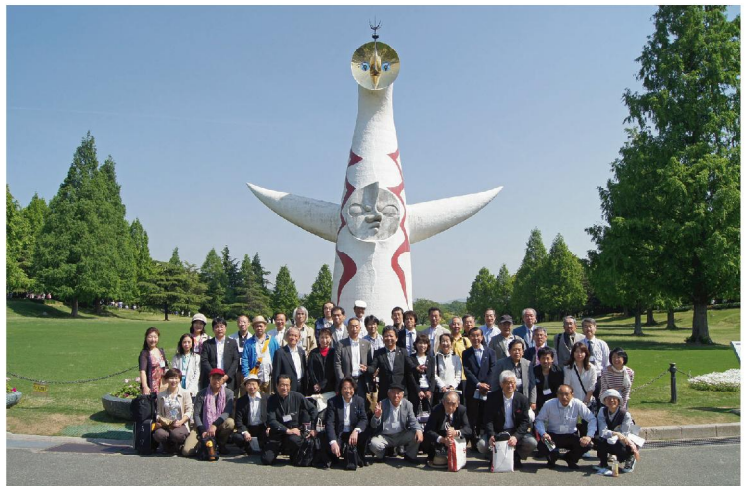
本部SSSの第45期通常総会は、去る5月14日に千里阪急ホテルで開催され、全国から代議員、一般会員70余人が集結した。

今年の本部総会は宮城県仙台市での開催が昨年の<富山大会>で決定、準備が進められていたが、3月11日に起こった東北地方太平洋沖地震で開催は不可能となり、急遽大阪で開催されたものである。

総会は事前に幹部会、理事会で承認、決定されている案件だけにスムーズに進捗、2年に1度の役員改選では、宮崎・京都府支部会長が副会長に就任した。

また、被災者の子供を対象とした避難所向けの「ザ・机」を300台寄贈することが報告され、会場でチャリティー募金も募られた。この「ザ・机」はOIKOSとの共同制作、プラパールと強化段ボールでできており組み立て式、1台2,000円で送ることができるので、心のある人はOISへ送金して欲しい。

総会終了後特別講演として須藤・宮城県支部会長が地震の体験



第8回 Designer's Bar OIS



私はOISの主催するDesigner's Barをいつも楽しみにして、予定を合わせるようにして参加しています。

それは、宮後会長をはじめ、様々な方々と仕事やインテリア業界のことを聞いたり話し合ったりできるからです。後半はお酒が入っているのでほとんどが笑い話になっちゃいますが・・・。

初めて訪れた時は緊張と戸惑いでどうしたらよいのか分からなく、同じ中央工学校OSAKAの先輩・鷺丘さんに、金魚のフンのようにくっついていましたが、皆さん、気さくで面白い方ばかりなので今では楽しく、気楽に参加させていただいています。

私は社会人を経て再度学生に戻り、建築CGやインテリアの勉強をしています。私と似たような境遇の川副さんや、歳の近いOISの頼れる兄貴・園田さんなど、若手の方々と仲良くなれてとても充実しています。

2月25日、コラムデザインセンターで開催された第8回のミニイベント「チョロQでカーリング」も、楽しく遊んでいるうちに好成績になっていて、高価そうなアートブックを頂いちゃいました。

毎回楽しいイベントで盛り上がっていますので、ぜひもっと多くの人にも参加して欲しいと思います。特に若手の方希望！！

(記・内藤 友貴)



「チョロQでカーリング」とても難しいです

事業部長からの抱負と年間行事計画

| | |
|-----|--|
| 4月 | ■ 総会 22日 |
| 5月 | ■ 検定試験説明会 24日 ■ 葉知利書No. 86 26日 |
| 6月 | ■ 一般受験者向け講習会 17日・24日 ■ 第9回Designer's Bar 28日 ■ KAGUKEN |
| 7月 | ■ 一般受験者向け講習会 1日 ■ 第51回インテリア設計士資格検定試験 9日～10日 |
| 8月 | ■ MANA-BOZE 4日 ■ 葉知利書No. 87 |
| 9月 | ■ 証書伝達式 / ■ 新会員歓迎会 |
| 10月 | ■ 事遊展 ■ 篆刻教室 ■ 陶芸教室 23日 |
| 11月 | ■ 第10回Designer's Bar + 忘年会 ■ KISバスツアー ■ 葉知利書No. 88 |
| 12月 | ■ 見学会 |
| 1月 | ■ 新年会 8日 |
| 2月 | ■ 試験説明会 ■ 葉知利書No. 89 ■ 第11回Designer's Bar |
| 3月 | ■ KISバスツアー |

※上記はあくまで予定であり、変更・中止の場合もあります

■ = 第1 ■ = 第2 ■ = 第3 ■ = 第4

第1事業部



梅田 澄徳

冬から急に夏が来たような天候と東北地方大震災。また、今年度は副会長と第1事業部の重責を任命され、本人が一番驚いている次第です。

第1事業部では主に検定関係を担当しますので、第1事業部のメンバーを中心として、会員の方々の協力・援助もいただきながら、次の行事を予定しています。

第2事業部



今西 隆次

第2事業部では年間を通して「KAGUKEN」(月1回～2回)を中心に講習・講座・実地研修を行い、その中に見学を入れたいと思います。

私たちが40年前に行っていたものづくりの基本を若い人に伝えるのが目的で、具体的には、無垢材を使用し自分の家具(センターテーブル・サイドテーブル・TVボード・など)をデッサン～図面製作～墨付け～加工～組立～塗装まで、基本的にすべて本人が手掛けて製作し、秋の事遊展に出展することを目標としています。

第3事業部



田原 妙子

第3事業部では協会活動や会員記事を伝える「葉知利書」を年4回定期的に発行し、またホームページ等の拡充を図っていきます。賛助会員へも会員メリットをより感じてもらえるよう働きかけていきます。会員が発信することができる事業部として、各事業部とも明快に関わっていき、新たな動きに期待し、頑張っていきたいと思っています。

第4事業部



南野江以子

『前を向いて歩こう』、最近よく耳にする言葉です。人はとかくいろんな場面に出くわすと、立ち止まったり、耐えられない苦しさで茫然となり、自分の行き先を見失ってしまいそうになります。

今、何が私たちの心に大切なのか考えさせられます。インテリア設計士として、その空間の中で居心地の良い、暖かい心になれるように、形では表せないものの実現に、会員の皆様と一緒に努力していきたいと考えています。

本年度から事業部の再編が行われ“青年部”と“かぶだちの会”が加わりましたので、親睦と青年部、かぶだちの会が一つになって実行できる心強さを感じています。

また、青年部とかぶだちの会の懸け橋としても十分機能できることを心がけてまいります。

きっかけは、おままごと!?

加茂 多紀子

子供の頃、よく大人から、大きくなったら何になりたい? と質問されたり、何かのきっかけや出会いで、将来は〇〇になりたい…と考えたり、誰でもそういう段階があって、自分の進む道を選んでいていると思います。

私は早い時期にインテリアというジャンルを選択し、その中でも家具という分野に絞り込んだのですが、そもそもインテリアに興味を持ったきっかけは何だったかな…子供の頃の遠い記憶をたぐりよせてみました。

私の子供時代は、おもちゃや雑貨などは近辺のお店ではなかなか手に入りませんでした。めったにチャンスはなかったけど、大人と一緒に少し離れた町に行って買ってもらうか、誕生日や、クリスマスのサンタさんのプレゼントでもらう…という手段しかなかったのです。

小学生の頃、すごく欲しくて、買ってもらって嬉しかったおもちゃ。たぶん同世代の人しかわからないと思うけど、それは、旧タカラから発売されていた「こえだちゃんシリーズ」(今でいうドールハウス?)でした。

仲良しの友達はみんなこのシリーズのいろんなアイテムを持っていました。私が欲しくて買ってもらったのは「キラキラちゃんとお星のおうち」というもの。

わからない方のために簡単に説明しますと、お星さまの形をしたドールハウスで、がばっとおうちを開くとお部屋になっていて、いろんなお部屋の絵が描かれたパネルをセットできて…。

自分の部屋、キッチン、居間…。

一つの空間がパネル1枚で出来上がる、お手軽なハウスなのです。要はおままごとするためのおもちゃだったのですが、私はこの「星のおうち」が大好きでした。

もし私がこのおうちに住んでたら…
この部屋が私のお部屋だったら…

一番のお気に入り「星のおうち」でしたが、友達が持っていた他のおうちと交換して「住んで」みたり、自分だったらもっとこんなふうな空間にしてみたい…いつも頭の中は空想でいっぱい。

しかも子供特有の豊かな想像力でバリエーションもたくさん! 近所の女の子同士で集まっておままごとしながら、ずっと空想に浸っていました。

子供の頃の想像力を鍛えるという意味で、これほど役に立ったおもちゃはなかったと思います。いま思えば、私のコアな部分があるのかもしれない。

現実ではないけれど、憧れる空間。

ここをこういうようにしたらもっと素敵かもしれない…。

いつも「空間」を意識し、理想の空間を頭に描けるようになっていました。

私がインテリアというジャンルに進んだ

のは、このときの憧れの空間…が強く残っていたからだと思います。

今の時代の子供たちは、昔よりずっと進化したおもちゃ(ゲーム)で遊んでいると思います。それぞれの時代に合った遊び方があるだろうし、それによってまた、それぞれの時代に合った成長が出来るのでしょうか。楽しみです。

子供の頃の遊びが必ず将来に結びつくということではありませんが、興味を持つものに年齢や性別、時期は関係ありませんよね。

それがすぐに仕事に結びつかなくても、たとえ今は何の役に立たなくても、きっかけや結果はタイミング。いつ現れるかわからないものです。



どんな小さなことも見逃さないアンテナを持って、毎日を過ごしていきたいなあ…と改めて思います。

英国住宅レポート

植村 哲

昨年の夏、連日の猛暑の日本を離れて、イギリスの知人宅を訪ねた「住宅レポート」です。

場所はロンドン中心部から北へ地下鉄で1時間ほどのところにあり、当地でもやはり「恵まれた住まい」といえるでしょう。

敷地は約1,000㎡、道路に面した前庭に約160㎡、建物1階部分は220㎡、裏庭620㎡程度といった豪華なもの、レンガ造りで壁式工法、二階建、玄関の土間は30cm程上げているが日本のように「上がり框」はなく各部屋までフラットでバリアフリーとい

うべきか、以前は絨毯敷きであったが、日本人の奥さんが、ここは天然石にし、靴をぬいでここからスリッパに履き替えて、廊下とサニタリー部分はフローリング、居室は絨毯、台所はタイル床に改造、玄関扉はムク材で「内開き」、防犯上ナイトラッチ式で必ずカギを持って外に出ないと、我が家といえども入ることはできない。

サニタリー部分は、洗面器・便器・バスタブ・シャワーコーナーが8畳程度の部屋一つにまとめられている。これには正直いって戸惑った。

屋根は石かタイル、窓は壁式構造のため普通より小さい。その昔は「窓の数や大きさによって税金が決められた」ということもあり、近所には塞がれた窓跡の住宅も見ることができた。

以前は4,000万円以上した住宅が、今では円高で2,000万円台で買える物件もあるとか…。

屋根の棟が少し下がっていても気にしない住宅、もちろん柱も少々は…。古い物ほ

ど大切に作る国、国民性があちらこちらで感じられた旅行であった。

湖水地方のマナーハウス、チェスター地方のチューダー様式の家々、絵はがきのような可愛らしい住まいの点在するコッツウォルズ地方、ロイヤル・クレセント集合住宅、バッキンガム宮殿についてはまたの機会にするとして、会員の方々、出来るだけ早く、一度行って、海外事情を見られることをお勧めします。

エレベータの階数表示はG、1、2、3、～ですからくれぐれもご用心を。

